

# CASBEE 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堀川五条ホテル	階数	地下1F 地上9F
建設地	京都市下京区五条通油小路西入北側小泉町94番地、87番地、89番地、90番地	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	340 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2018年10月1日
敷地面積	582.49 m <sup>2</sup>	作成者	アーキネット京都 1級建築士事務所 小川宙也
建築面積	518.15 m <sup>2</sup>	確認日	2018年10月15日
延床面積	4,221.11 m <sup>2</sup>	確認者	アーキネット京都 1級建築士事務所 黒木幹雄



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

環境品質 G vs 環境負荷 L

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 184 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 46 (79%)

③上記②以外の: 46 (79%)

④上記+: 46 (79%)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

LR のスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	京都市堀川五条に新設されるホテルの計画である。利用者の快適性向上に配慮すると共に省エネ、省資源にも配慮した計画としている。	その他 特になし
Q1 室内環境	客室のサッシ遮音性能、昼光率、化学汚染物質発生源対策に配慮し快適な室内空間となるよう計画した。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	高効率設備採用により省エネルギーに配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量削減に配慮した。
Q2 サービス性能	Gbitクラスの通信環境を整備し機能性向上に配慮した。更新必要間隔の長い内装材、ダクト、配管材料を採用し建物の耐用性向上に配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	節水器具を採用し水資源の保護に配慮した。リサイクル材を採用し省資源に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される